

三木市記者発表資料 (令和6年8月28日発表)			
担当部課名	担当長	担当係	電話番号
産業振興部 農業振興課	課長 中西淳 (内線 2220)	農業政策係	0794-82-2000 (内線 2206)

タイトル	
1日農業バイトアプリ「デイワーク」を推進 ～農業の労働力確保へ、多様な人材と仕事をマッチングします～	
本件のポイント	
<ul style="list-style-type: none"> ・農業の労働力不足対策の1つとして、民間サービスの「デイワーク」の利用を推進します。 ・県内の自治体やJA等で管理アカウントを取得・運用するのは三木市が初めてです。 ・まずは繁忙期の農作業を抱える農業経営者（生産者）の登録を呼びかけます。 	
説明文	
<p>農業の労働力不足対策の1つとして、民間事業者が行っている1日農業バイトアプリ「デイワーク」の利用を市として推進します。</p> <p>労働力不足に困っている農業経営者の課題解決策として市から提案するとともに、公民連携により市内農業者と近隣住民の農業労働市場のマッチングを促進します。</p> <p>まずは求人を募集する生産者に登録を呼びかけ、その後に求職者となる地域の皆さんに登録いただき、マッチングしていただきます。</p>	
 <p>1日農業バイトの仕組み</p> <p>完全無料</p> <p>1日バイトアプリ「デイワーク」</p> <p>生産者 (求人) 登録 → 求人紹介 → 働きたい人 (仕事探しエントリー) → 生産者紹介 → 成立 → 農作業</p> <p>賃金の支払い (直接やり取りが可能)</p> <p>1日バイトアプリ「デイワーク」 1日単位から農業で働きたい人と組合員（生産者）をつなぐスマートフォンアプリです。</p>	
1 サービス名称	1日バイトアプリ「デイワーク」
2 サービス概要	農業経営者と求職者を1日単位で結びつけるインターネットサービス
3 利用料金	無料（農業経営者、求職者、市ともに無料）
4 運営会社	鎌倉インダストリーズ株式会社（神奈川県鎌倉市）



5 目的・内容

市の主要産業の1つである農業においては、農業従事者の高齢化や担い手不足といった課題があり、将来にわたって安定的に生産するための生産基盤の弱体化が課題となっています。

このような中で、農業現場で安定して補助労働力となる人材を確保するためには、「副業で休日だけ」「週に1日程度なら」「1日数時間であれば」など、柔軟で多様な働き方に対応していくことにより、公民連携で農業労働力(※)の確保を進めます。

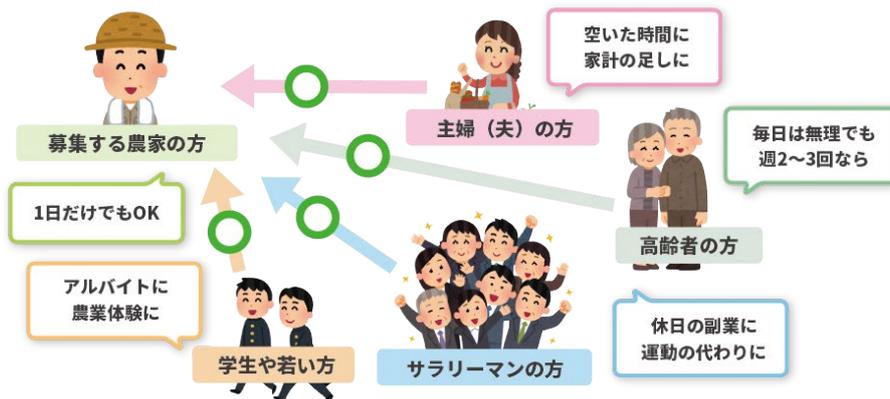
※あくまで補助労働力の確保であり、担い手(農業経営者)の直接的な確保ではないことには留意する必要があります(バイト体験が雇用就農や将来的な担い手確保に間接的につながる可能性はあります)。

6 当該サービスを公民連携で(市として)推進する理由

- (1) 社会課題解決を行うために既存の民間サービスを活用(連携・協力・推進)することは、有効かつ必要な手段であること。
- (2) デイワークは利用料金が無料であること。※本サービスは、運営会社が農業分野の課題のため社会貢献事業として北海道のJAと共同開発したものであり、利用料金の負担は発生しません。
- (3) デイワークは既に北海道、北関東を中心に全国で多くの利用実績(2019年サービス開始後5年経過、10万件以上のマッチング実績)があること。
- (4) 今後、近隣の自治体やJA等にも利用が拡大すれば、広域な範囲で農業労働力が融通し合えたり、繁忙期が異なる専業農家同士が互いにサポートし合ったりする横のつながりの構築も期待できると考えています。

7 ホームページ

<https://www.city.miki.lg.jp/soshiki/34/71913.html>



本案件は次のSDGs目標に関連します。

8 働きがいも
経済成長も



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう

